

## 競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は、２０２５年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項により実施する。また、チャレンジアスリート記録会は、上記に加え全国障害者スポーツ大会競技規則も参考に実施する。

### 2 招集について

競技者は必ず、招集所（１００ｍスタート側避難タワー下）でコールを済ませた後、その場で待機すること。コールに遅れたものは欠場とみなし、競技に出場できない。

| 競 技 種 目 | 招集開始時刻   | 招集完了時刻   |
|---------|----------|----------|
| トラック競技  | 競技開始３０分前 | 競技開始１５分前 |
| フィールド競技 | 競技開始４０分前 | 競技開始３０分前 |

※ ただし、混成競技においては、２種目目以降（男：走幅跳、女：ジャベリックボール投）は、競技開始４０分前までにそれぞれの競技場所に集合すること。

### 3 競技は次の要領で行う。

- （１）スタートの合図はイングリッシュコールとし、小学生は同一人が２回不正スタートをした場合に失格とするが、オープンとして走らせる。 チャレンジアスリートは、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とするが、オープンとして走らせる。
- （２）混成競技の８０ｍハードルで同一人が２回不正スタートし、オープン参加となった場合の得点は０点とする。
- （３）かけっこのスタート方法はスタンディングスタートとする。スタンディングスタートの形については特に規定しないが、スタートラインに立った状態から、「セット」で静止できればよいものとする。スターティングブロックは使用しない。
- （４）チャレンジアスリート・混成競技のスタートはクラウチングスタートを原則とするが、慣れていない場合はスタンディングスタートでもよい。スターティングブロックは使用しなくても使用しなくてもよい。
- （５）混成競技の８０ｍハードルは高さ６０ｃｍ、台数９台で実施する。インターバル等の規定は、下記の通りとする。

| 学年 | スタートから第１ハードル | インターバル | 最終ハードルからゴール |
|----|--------------|--------|-------------|
| ５年 | １３ｍ          | ６．５ｍ   | １５ｍ         |
| ６年 | １３ｍ          | ７ｍ     | １１ｍ         |

(6) 混成競技のジャベリックボール投は、主催者が用意したジャベリックボールを使用する。

競技は、やり投ピットを使用し助走距離は15m以内とする。

(7) 混成競技の走幅跳とジャベリックボール投は2回の試技とする。

(8) 混成競技の種目は下記の順で実施する。

男子 ①80mハードル ②ジャベリックボール投 ③走幅跳

女子 ①80mハードル ②走幅跳 ③ジャベリックボール投

(9) チャレンジアスリートの走幅跳、砲丸投及びジャベリックスローは6回試技とする。

(10) リレーは、リレーオーダー用紙を当該種目招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出すること。オーダー用紙は招集所に用意する。出場するメンバーのうち、少なくとも2人は、リレーに申し込んだ競技者でなければならない。選手に何組・何走を走るのかをしっかりと覚えさせておくこと。

(11) 4×50mリレーは、第3コーナーの200mスタート地点からスタートし、テイクオーバーゾーンは使用しない。2、3、4走者の待機位置は、次の通りとする。

2走：スタートから50m地点      3走：スタートから100m地点

4走：スタートから150m地点

4 スパイクシューズのピンは9mm以下を使用すること。

5 競技者の競技場への入退場は、競技役員の指示・誘導による。

6 かけっこ、混成競技の表彰は次の通りする。

(1) かけっこは各種目6位までの入賞者に賞状を授与する。

(2) 混成競技は学年別に表彰する。優勝者に、トレジャーアスリート賞、3位までの入賞者にメダルと賞状、6位までの入賞者に賞状を授与する。

|                            |
|----------------------------|
| ゴミの持ち帰りの徹底を各クラブにてお願いいたします。 |
|----------------------------|